

合格体験記

愛知教育大学 教育学部教員養成課程特別支援教育専攻合格
夫馬 帆乃華 (46 回生)
安城市立東山中学校出身

私の将来の夢は教員になることです。中学生の時、先生に進路について相談したときに強くすすめられたのが安城東高校でした。安城東高校は愛知教育大学への進学率が高く、雰囲気も良いからという理由でした。今はその時の先生にとっても感謝しています。

高校での1・2年生のときは、部活とテストに特に力を入れました。テスト期間中の勉強ということを忘れずに取り組んでいました。時間があるときには復習をしました。特に世界史の復習には力を入れました。暗記が多いため忘れやすいですが、やればやるだけ伸びる教科であると信じてやっていました。3年生になって、英語も暗記が大切であると気づき、1・2年生のうちに英語の単語の知識をもっと増やすべきだったと思っています。模試があったときには必ず復習をするようにしていました。ただ十分に理解する前に次の勉強をしてしまうときもありました。同じような問題が出たときにとっても後悔するのできちんと復習するのが良いと思います。部活は好きなら最後までやりきるのが良いと思います。2年生後半になると部活を辞める友達も多少増えると思います。勉強のことについて焦ると思いますが、楽しいと思える部活に入っているのなら、最後まで楽しまないともったいないです。実際、私も大切な仲間と部活をやり切ったことは自信や勉強のモチベーションに繋がりました。これは趣味などでも同じだと思います。集中して勉強するためにも楽しめることは楽しむべきです。今まで楽しみのためにあった時間をすべて勉強に使えるようになったとき、今まで時間があまりないと焦っていたとしても、“まだあく余裕がある。”、“大丈夫”と思えました。たくさんの時間を勉強に費やせるとき、とても嬉しかったです。

3年生は1つ1つのことに集中して取り組んでいくことが大切だと思います。授業も集中して聞けば学びがあります。3年生になり、すべての範囲が終わったあとも無駄な授業は1つありませんでした。先生の話をしっかり聞くだけでも理解が深まることも多いです。3年生になったら自主学習に参加することをおすすめします。まわりの友達と一緒に空間で勉強することで、自分もやらなきゃと思い、集中できます。時間も決められているので、今日やるべきことを計画して取り組むことでより効率的に勉強できました。少しでも時間があれば勉強したいと思う気持ちはとても分かりやすいです。しかし、しっかりと休養を取ることも大切です。私は途中で集中が切れたことがありました。何をやっても頭に入らず、焦りました。その時、私は集中を取り戻すのに1週間かかりました。それではとてももったいないです。きちんと休養を取って毎日続けることが大切です。集中できないと、よりストレスがたまりまた集中できなくなります。そうなる前にしっかりと休んでください。

安城東の先生方は私たちを最後までサポートしてくれました。先生方のサポートをしっかり受け、自分で勉強することで成績が伸びました。受験では学んだことを生かして教員になるためにこれからも努力していきます。